

号外



【発行所】
埼玉土建技能士会
〒331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町
2-220-3
電話：048-661-8139
http://www.saitama-doken.com
発行人：今野義視

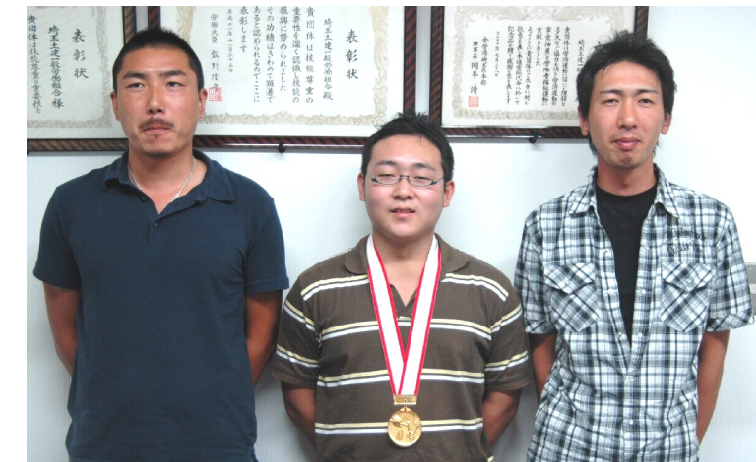
埼玉土建10年ぶりの快挙

“金”メダル獲得！

全建総連第27回全国青年技能競技大会

【技術センター・原記】
九月十九日（二十一日）に掛けて、全国から三十五歳以下の青年大工の精鋭が集い、その技を競い合う「第二十七回全国青年技能競技大会」が神奈川県のパシフィコ横浜で開催されました。
大会の課題は、大工職人としては知っておくべき「規矩術」のさまざまな技法が凝縮されている「四方転び踏み台」です。
今年には三十五県連・組合より七十八名の青年大工職人が集い、埼玉土建からは板橋悠選手（ふじみ野）、多比良和矢選手、福島教仁選手（深谷寄居）の三選手が出場しました。この日のために、千葉土建との合同練習で選手・講師の交流を図り、お互いに切磋琢磨し「金」を目指して日々、仕事が終わってからの練習を積み重ねてきました。

競技当日（二十日）、代表選手は落ち着いた面持ちで会場入りし、激励に駆けつけた埼玉土建の応援団（十三人）に見守られ、競技に挑みました。選手達は、この難しい課題を図面作成から加工・組立てまで競技時間の六時間で見事に仕上げ、競技後それぞれ選手が講師陣に作品の出来栄を報告、持続してきた緊張から解放され選手達からは安堵の表情が見受けられました。



福島教仁選手（奨励賞）
板橋悠選手（金賞）
多比良和矢選手（入賞）

競技が終わり、応援団一同が選手達を囲んで労いの声を掛ける中、今大会が全国大会初出場となった板橋選手からは「優勝します」の一言、応援団からは「結果発表前に頼もしい」と場を和ませました。そして、本日（二十一日）結果が発表されました。福島教仁選手（深谷寄居）は惜しくも入賞を逃しましたが、多比良和矢選手（深谷寄居）が入賞、そして、板橋悠選手（ふじみ野）が・・・なんと「金」メダルを獲得したのです。まさしく大金星。
この間、二十四回大会、二十四回大会で「銅」メダルを獲得してきましたが、埼玉土建が「金」メダルを獲得したのは、平成十三年の第十七回大会（和田智一さん）から実に十年ぶりの快挙です。
競技後、板橋選手の口から出た「優勝」の二文字は、これまで練習を重ね競技大会で最高の作品を仕上げられたという自信の表れだったようです。
選手一同が、本部へ結果報告に立ち寄ると聞き急遽、鈴木委員長が駆けつけ、選手の活躍と講師陣の指導に対して、労いと感謝の念が伝えられました。なお、金賞を受賞した板橋悠さんは、十月十九日（二十一日）に開催される、全建総連第五十二回定期大会で表彰されます。
※ 競技の様子は十月十日号の本部機関誌を、ご覧ください。